

「コミュニティサイト」も危険？ 使い方次第で 大きなトラブルに

「未成年を狙った犯罪」は、子どもたちに関係するネットトラブルの中で、特に気を付けなくてはならないもののひとつです。それを防ぐためにどのような知識が必要なのでしょうか。



今、気を付けなくてはいけないのは「コミュニティサイト」

今年10月の警察庁の発表によると、平成27年上半期のインターネットに起因する犯罪の被害児童のうち、一般的に危険だと思われる「出会い系サイト」に起因したものが48人（前年同時期比34人減）であったのに対して、子どもたちが日常的に利用しているSNSや掲示板などの「コミュニティサイト」に起因したものが796人（前年同時期比98人増）となっており、今、気を付けるべきは「コミュニティサイト」の利用の仕方であることがわかります。

悪い大人の手口

コミュニティサイトは他人と交流することを目的に作られています。利用する側の子どもたちは、「友達を増やせるかもしれない」、「素敵な人と知り合えるかもしれない」という期待から、相手を信用し安易に個人情報を公開するなどして、危険に身をさらすことも少なくありません。また、乗じて、悪意を持った大人が「色々な遊びを知っている面白い人」や「相談に乗ってくれる優しい人」などのふりをしたり、年齢や性別を偽ったりするなどして近づき、子どもたちが犯罪に巻き込まれるケースが多く起きています。

メッセージを受信しました

受験生なの？
息抜きも大切だよww
12/3 14:04

家庭教師やってたから
勉強教えてあげようか？
12/3 14:05

※リアルタイムでチャットができる
サイトでの被害件数も増えています

ご家庭での対応

インターネットを通じた性犯罪などの被害から子どもを守るためには、「ネット上で知り合った人とは直接会わない」、「知らない人に個人情報や写真を送らない」という当たり前のことを伝えるだけではなく、なぜそうしてはいけないのかをきちんと説明し、考えさせることが大切です。

「自分は大丈夫」だと思っている我が子に、

- ・ 安易に送ってしまった写真や個人情報は取り戻せないことから、嫌がらせや脅迫等を受けたり、性犯罪に巻き込まれたりする危険があること
- ・ インターネットを通じた犯罪には、一般的に危険とされているサイトよりも、普段使っているコミュニティサイトが利用されているケースが多いこと

を伝え、安全なインターネットの利用方法について親子で話し合ってみましょう。